

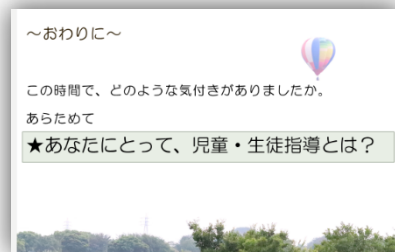
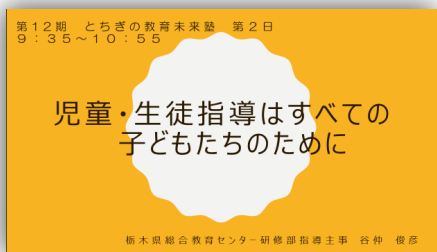
令和3（2021）年度 第12期 とちぎの教育未来塾

第2日〔令和3（2021）年10月30日（土）〕

第12期生 134名



講話・研究協議「児童・生徒指導はすべての子どもたちのために（小・中）」
栃木県総合教育センター研修部指導主事 谷仲 俊彦



受講後の振り返りから

【現職】

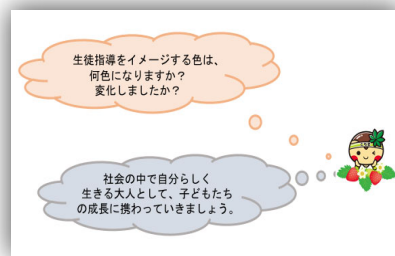
◆児童・生徒指導はどの場面においても意識すべきであることを改めて感じました。普段から一人一人を大切に、日々の何気ない会話などからその児童の特性を理解することができると思います。そのため、現在取り組んでいることを欠かさずに、今回の講話で学んだことを生かして児童・生徒指導を行っていこうと思います。貴重なお話を頂き、ありがとうございました。

【学生等】

◆児童生徒理解の重要性を改めて大きく感じました。生徒指導と聞くと、問題行動への対応を思い浮かべてしまいがちでしたが、児童生徒の成長、発達において大切な指導であるということを今回の講座で学ぶことができたので、信頼関係を大切に、ひとりひとりに寄り添っていける教師になりたいと思いました。

講話・研究協議「生徒指導はすべての子どもたちのために（高）」

栃木県総合教育センター研修部副主幹 渡邊 久子



受講後の振り返りから

【現職】

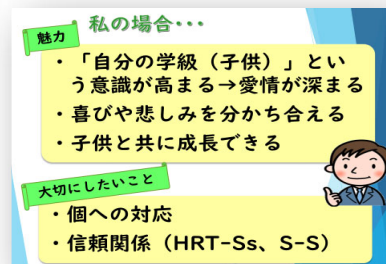
◆生徒指導というと、問題行動に対する指導をイメージしていました。しかし、授業や学校行事など生徒に関わること全てが生徒指導であるということに気付かされました。生徒指導をイメージする色も冷静さや厳格なイメージの青から、見守り包括する温もりがある橙に変わりました。

【学生等】

- ◆生徒指導とは、問題行動に対する特別指導だけではなく、日頃の子どもたちの様子を観察し、理解し、変化の多い社会で生きていくための指導をしていくことであると分かりました。また、どのような場合でも、教師と子どもの信頼関係が重要であることを学びました。

講話・研究協議「学級経営ってなあに？（小・中）」

栃木県総合教育センター研修部指導主事 福田 俊彦



受講後の振り返りから

【現職】

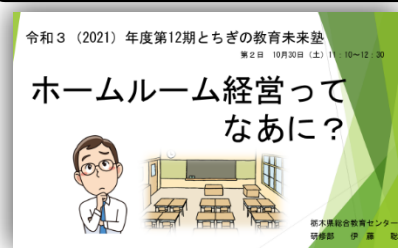
- ◆学級担任の魅力を考えることで、学級担任としての役割を見つめなおすことができました。もう少し自分自身が自己開示をして、児童たちとの距離を縮めていきたいと思いました。

【学生等】

- ◆学級経営を行うためには、児童生徒が主体であることはもちろん、教師も児童生徒が主体的になるための手立てを考えなければならないことを学びました。また、ブレイクアウトルームで現職の先生や先輩から実際の学校現場で起きた事例とその改善策などを教えていただき、充実した話し合いになりました。また教師になることが楽しみにになりました。

講話・研究協議「ホームルーム経営ってなあに？（高）」

栃木県総合教育センター研修部指導主事 伊藤 聡



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆ホームルームを経営するのは担任だと思っていましたが、担任はあくまでも助言者で、主役は生徒であることを認識できました。グループ協議で「ホームルームを1つの社会と見立てて、より良い社会作りを目指す」と、意見をまとめられたのがとても良かったです。

【学生等】

- ◆「ホームルーム経営で心掛けたいこと」について意見交換をした際、自分の意見が正しいのか分かりませんでしたが、他の方々の意見を聞くことで考えを深めることができました。また、現職の先生の意見を聞くことで、より現状に近い形でホームルーム経営をイメージすることができました。